

福 議 委 号
令和 7 年 1 2 月 8 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会

委員長 佐藤 孝男



所管事務調査報告書の提出について

令和 7 年 9 月 16 日福島町議会定例会 9 月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 148 条の規定により、下記のとおり報告する。

記

| | | | | | | |
|---------|----------------------------|-------|--------|-------|--|--|
| 調 査 事 件 | 11 岩部クルーズ運航事業の状況と今後の方針について | | | | | |
| 調 査 期 間 | 令和7年12月1日 | | | | | |
| 出席委員 | 委 員 長 | 佐藤 孝男 | 副委員長 | 小鹿 昭義 | | |
| | 委 員 | 平沼 昌平 | 委 員 | 平野 隆雄 | | |
| | 委 員 | 溝部 幸基 | | | | |
| 委員外議員 | 議 員 | 熊野 茂夫 | | | | |
| 出席説明員 | 町 長 | 鳴海 清春 | 副 町 長 | 小鹿 一彦 | | |
| | 産業課長 | 福原 貴之 | 産業課長補佐 | 中村 伸也 | | |
| 議会事務局職員 | 事務局長 | 鍋谷 浩行 | 係 長 | 山下 貴義 | | |
| | 主 任 | 角谷 里紗 | | | | |

[委員会意見]

調査事件 11 岩部クルーズ運航事業の状況と今後の方針について

(令和7年12月1日調査)

岩部クルーズ運航事業については、令和4年度から指定管理者制度を導入し、一般社団法人福島町まちづくり工房が運航主体となって事業を行っており、10月13日には今年の運航業務を終えております。

町より、令和7年度の岩部クルーズ運航事業の状況等について資料が示されたことから、その内容を調査したので、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

町から示された「岩部クルーズ運航事業の状況と今後の方針について」は一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

1 岩部クルーズ運航事業について

令和7年度の出航率が、これまでの平均を大きく下回った点については、天候に左右される事業であり、安全を考慮した結果として理解できるが、道外からの乗船者が多いとのことから悪天候で出航できなくなった場合に何らかの対応をしなければ利用者が離れていくことが予想される。青の洞窟に至る運行コースの海の特徴は、早朝・夕方に波が比較的穏やかになることから、その時間帯に出航するコースを設定することも有効と思慮する。

そのためにも、町内の青少年交流センターや民宿など滞在できる施設への対応を町として検討することも必要と思慮する。

2 関係条例の改正について

利用料見直し関係条例の改正については、これまでコース等で規定していた利用料を指定管理者が自由に料金を設定できるよう別表を削除し、利用料の上限のみ規定する内容としたのは、指定管理者の指標がなくなり困惑することを懸念するが、内規等で対応するとの説明であり、運行する「まちづくり工房」の主体的な裁量を期待する。

4 総括意見

岩部クルーズ運航事業を始めとした町内の観光振興については、まちづくり工房に期待するところが大きいですが、現状として負担を掛け過ぎていることを懸念する。経費面などで工房の自立性を抑制すべきではなく、適切なインセンティブの設定や広告費等必要経費の負担など、町としてしっかりバックアップして行く必要があると思慮するので考慮されたい。